

令和 8 年度 芝公民館運営審議会 議事録

◎日 時 令和 8 年 7 月 3 日(金)午前 10 時 00 分～午前 10 時 40 分

◎会 場 芝公民館「講座室」

◎出 席 者

○委 員 ◎榎本幸平、四倉孝広、矢作邦男、間々田和博、本多 茂、
笠原 昇、福馬 晃、小野 毅、熊谷 淳、平井美千代、
小泉 章、佐々木今日子、佐藤ふさえ、碓 康雄
(◎会長) 以上 14 名

○事務局 栗原館長、加藤主査、松本主査

◎欠 席 者 小峰 茂昭

事務局より、川口市附属機関等の会議公開に関する要綱に基づき、当審議会が公開であることから事前に公開募集したところ、傍聴希望者がいなかった旨報告する。

事務局より、委員定数 15 名のうち 14 名の委員が出席していることから川口市公民館運営審議会条例第 6 条第 2 項により、審議会が成立していることを報告する。

役員改選時期に伴い新会長に榎本委員を選出した。また、副会長に四倉委員を選出した。

榎本会長の開会あいさつ後、公民館運営審議会条例第 6 条 1 項により、会長が議長となり議事が進行した。

今回の議事録署名人は、福馬委員と本多委員を指名し、両委員は了承した。

◎議 題

- 1 令和 7 年度事業結果報告等について
- 2 令和 8 年度事業経過及び事業予定について
- 3 その他

榎本議長が議題 1 と 2 について事務局に説明を求め、事務局は、資料にもとづき説明した。議題 1 については承認されたが、議題 2 の 3 その他
の事業（3）芝公民館地区献血会については質疑が多く、議題 3 に持ち越
しとなった。議題 2 のうち、芝公民館地区献血会に関係するものを除いて
はこの時点で承認された。

○質疑応答

議題 1 質問（碓委員）子供工作教室の参加人数が少ないように見う
けられるが、どう対策していくのか。

回答（事務局）参加人数が少ないことから令和 8 年度は 6 月
に近隣の芝小学校及び、芝中央小学校にチラシとポス
ターの配布を行った。

議題 2 意見（碓委員）献血会について、参加人数が少なくなってい
る。芝公民館地区には、かなりの数の企業等があるので、各企業にたいして、勤務時間にはなるけれども協
力していただけないかというような声かけを続けて
はどうか。信用金庫等の方が献血に来てくださる例も
あるので、各企業の雇用者にも従業員の献血参加に理
解をしていただき、ご理解をいただいた雇用者には感
謝状を贈呈するなどの取り組みをすることが、献血者
の増加につながると考える。

回答（事務局）芝公民館地区では、献血会委員が周囲への声
掛けをして、献血に来てもらっているのが現状である。
市内では、公民館地区の献血会以外にも、市役所や、
各企業で献血を実施していて、しかも、川口市からの
献血会に対する助成金の交付が令和 7 年度で終了と
なってしまった。予算的に献血会の運営が困難になる
おそれがあるなかで、公民館で部分的に献血を実施す
るのは疑問を感じる。

意見（矢作委員）私は献血会の会長をしている。公民館でも、
ポスターを配布するなど、献血を **PR** するための取り
組みをしていて、私自身も、近隣の金融機関等に行っ
て、勤務される皆さんに献血へ来ていただくようお願い
してきた。けれども、実施している時間帯が皆さんの
勤務時間帯とかぶるので、なかなか抜け出すのは難

しく、例えば支店長などの上層部の方が気を遣って、いつも来てくださっているのが現状である。また、地区内の各町会にお願いして、PRのためのカードを配布していただいても、なかなか献血に集まってくれない。なおかつ、市からの助成金がなくなるということなので、献血自体の意味合いが変わってきているのではないか。本当に献血へ人を集めたいのであれば、もっと集まりやすい時間に実施するとか、何かのイベントをやっている時にやるとか、そういう形をとらないと人数を増やすのは難しい。そこまでして芝公民館地区での献血が必要なのかどうか、市内全域の公民館地区の状況を見ながら、存続するかどうかを含めて検討したほうが良いと考えている。実際、芝公民館地区の献血は、意識の啓蒙にはなっていると思うが、数値的に貢献度が少ない。どこの公民館地区も時間帯の問題をかかえているのは当献血会と一緒に思うので、のちほど皆さんの意見を伺って方向を決めて行きたい。

質問（佐藤委員） 献血には年齢制限があるのか？

回答（矢作委員） 年齢制限はある。最長で **69** 歳までできるのだが、**65** 歳までに一回でも献血をやっていないとできない。また、せっかく参加しても受付で断られたり、なかなか厳しい制約がある。

回答（事務局） 献血会の件は、またのちほど審議いただきたい。

榎本議長が議題 3 その他について事務局に説明を求め、事務局は、資料 1 令和 7 年度執行状況、資料 2 令和 8 年度予算の説明をし、その後資料 3 献血会の助成金廃止について説明をした。内容は令和 9 年度までは現状の運営が継続できるが、令和 **10** 年度以降については、予算が枯渇してしまうため、現状の献血会運営が立ち行かなくなるため、今後の活動について意見を求めたもの。

○質疑応答

議題 3

意見（碓委員）献血は、献血会が主催しているということなので、最終的には献血会で、今後のことについて判断することになるだろう。

質問（矢作委員）（碓 委員にたいして）我々献血会の判断で結論を出してよい、という理解でよろしいか。

回答（碓委員）主催者は献血会ですよね。

質問（矢作委員）献血会で結論を出して、その結論を以て、あらためて運営審議会にかけなくてもよいか。それとも運営審議会に報告という形でもよいか。皆さんの意見があれば参考にしたい。

回答（事務局）今年は 11 月に献血を実施するまでに、他の公民館の動向をふまえて、まずは献血会のみなさんに他地区の状況等を連絡したいと思う。費用がないので、続けていくのであれば、規模を縮小して行うことになる。他の公民館地区でも、もし献血会が廃止されとなれば、そこでの参加人数と年齢層を参考にしながら、休止、もしくは廃止について献血会会長と話し合うつもりである。

質問（碓委員）仮に今後、市の助成金が復活した場合も、献血を実施することは難しいのか。

回答（事務局）予算を組み立てることができれば、献血会自体を存続させることは可能かもしれないが、どの町会も、同じ方が役員を続けるなど負担が大きい。各町会の負担を減らす意味でも、献血をどうするの

かを考える必要があると思う。

意見（間々田委員）別の団体で平日にショッピングモールなどで献血を実施した経験があるが、やはり平日はあまり人が集まらず、身内の皆さんにご協力いただいたことがある。助成金が廃止になるのは、費用対効果が見込めないからではないか。公民館地区で実施するのは啓蒙活動としては良いが、続けるのは厳しいと思う。

意見（矢作委員）私は献血会の会長も兼ねているので、廃止するという判断はなかなか難しく、皆さんの意見を参考にしながら決めて行くしかないと思っている。間々田委員が言われたように、市が助成金をカットするのにはそれなりの判断があつての事だと思う。個人的な意見としては、公民館だけでなく他にもいろいろな所で献血は行われているので、公民館で多くの人数が関わって費用をかけて実施すること自体、そろそろ再検討する時期に来ているのではないか。皆さんの反対がなければ、予算が無くなった時点で、献血をやめる方向で館長と話しをまとめていきたいのでご了解いただきたい。

意見（碓委員）献血会の状況については把握した。今後の運営及び存続の判断については、献血会に一任したい。

確認（榎本議長）令和 9 年度までは続けるということでよいか。

回答（矢作委員）今年度と来年度は開催する方向である。

（事務局）それでは決定後は、改めて運営審議会にも報告するということによろしいでしょうか。

（全委員） 賛成

榎本議長 本日の議事は全て終了した。

事務局 閉会のあいさつ

令和8年7月3日